

| 受験方式

TEAP利用型	教科	満点	英	国	日	世	政	数IA	数IIB	他	備考
法	2	350	150	100	(100)	(100)	-	(100)	-	-	

学部学科試験・共通テスト併用型	教科	満点	共通テスト						独自試験			独自試験で求められる科目	
			英	国	日	世	政	数IA	数IIB	独	他		試験内容
法	3	240	60	40	(40)	(40)	(40)	(40)	-	100	-	総合問題 ^(※)	(※)現代文

| 志願者推移

(数値は集計日時点による)

※志願者割合は各年度の志願者÷定員の値を比較(△:増加% ▼:減少%)

TEAP利用型		20'定員	20'志願者	21'定員	21'志願者	志願者割合	備考
法	法律	26	415	45	319	▼56%	
	国際関係法	15	264	30	236	▼55%	
	地球環境法	12	303	19	134	▼72%	
学部学科試験・共通テスト併用型		20'定員	20'志願者	21'定員	21'志願者	志願者割合	備考
法	法律	89	1,128	65	916	△11%	
	国際関係法	63	1,321	45	520	▼45%	
	地球環境法	40	490	30	272	▼26%	

※学部学科試験・共通テスト併用型の20年度定員・志願者は、旧学科別の数値を代入。

| 入試問題分析

| 総合問題 (共テ併用型 - 独自試験)

[社会(国際関係や環境問題を含む)と法・政治に関する試験(基礎学力や思考力を問うもの)]

大問一題

①:漢字問題(記述)／②:傍線読解問題(選択・記述50字以内)／③:空欄補充問題(選択・語句記述)／④:内容理解(選択)。

法の解釈という法学に関するテーマを扱った長文を読み、内容について答える問題が出題されている。選択式問題が多く、難易度も標準的。法学をテーマとした文章に慣れていない方が有利に働くかもしれないが、政治経済で学習する分野ではなく、文章の内容や主旨を正確に把握する力や、内容の理解を前提にした思考力が求められている問題であり、政治経済の学習を別途にする必要はないと思われる。

※TEAP利用型は全学部共通試験のため、別ページに入試問題分析を掲載。